

# 保育専攻学生による乳児保育実践学習と 乳児保育効力感との関連3

The Relationship between Practical Infant Care Implementation Efficacy and  
Infant Care Illustration Study in College Students Majoring in Childcare Part3.

加藤 房江

(こども学科 教授)

**要旨** 保育専攻学生の保育スキルを高める試みとして、乳児保育の具体的な保育行為に沿った授業を行なうことで、乳児保育の効力感が高まるのではないかと考え、乳児保育の実践的な学習と乳児保育効力感の関連を明らかにするために3つの研究を進めていった。研究1<sup>1)</sup>では保育所実習が終了した学生から研究1を行うための予備調査を行った。そこで得られたデータを分類し、「乳児保育効力感」の50の項目候補を作成して、因子構造の検討を行った。研究2<sup>2)</sup>では、学生が保育所実習を行った際、乳児に対して困難さを感じた内容について検討した。その検討した対応場面についてカラーのイラスト入りで、38枚の保育場面でのかわり方の「乳児保育実践カード」を作成した。研究3<sup>3)</sup>では、乳児保育実践カードを活用した授業「乳児保育実践学習」を詳細に検討するための効果測定である「乳児学習評価」において、介入前、介入中、介入後の3パターンの測定を行い、乳児保育実践学習の成績の良かった群は、乳児保育効力感の適切養護が上昇したことが明らかとなった。本研究は、研究1<sup>1)</sup>、研究2<sup>2)</sup>、研究3<sup>3)</sup>を踏まえて実習終了後の振り返りについての質問紙を実施した。「乳児保育実践カード学習」は、概ね学生にとって、実習で役に立ち、保育学生の立場から、保育者として、子育てにおいて役に立つことが予想されるということが明らかになった。

【キーワード：乳児保育 保育所実習 保育者効力感 学習評価】

## 1.はじめに

研究1<sup>1)</sup>から研究3<sup>3)</sup>までを振り返ってみていく。研究1<sup>1)</sup>では、乳児保育効力感尺度の因子構造の検討を行った。さらに内的一貫性の観点から、信頼性の検討を行い、乳児保育効力感(自作)尺度の作成を行った。

保育能力向上に関して、「保育者効力感(preschool-teacher-efficacy)」という視点から検討した研究がある。「保育者効力感」は、Bandera(1977)<sup>4)</sup>の自己効力感(self-efficacy)の概念を応用・発展した領域であり、「教師効力感」の保育者ないし保育専攻学生に対応した尺度である。保育者効力感は、「保育場面において子どもの発達に望ましい変化をもたらすことができるであろう保育的行為をとることができる信念」と定義している(三木・桜井, 1998)<sup>5)</sup>。

三木他(1998)<sup>5)</sup>の研究によると、保育専攻短期大学生は、2年間で行なわれている保育者養成教

育のうち、幼稚園や保育園における「実習」は重視されているものの1つであり、この重視されている幼稚園実習、保育所実習(三木他(1998)<sup>5)</sup>の研究では、幼稚園実習、保育所実習とを含めて教育実習としている。)は、保育者効力感に多大な影響を及ぼすものと推測されるとしている。三木他(1998)<sup>5)</sup>は、保育者効力感者尺度を用いて、教育実習において保育者効力感がどのように変化するか2つの研究において検討している。この研究は、実習前後における保育者効力感尺度得点およびGSES(一般性自己効力感尺度)得点の比較と幼稚園実習自己評価と保育者効力感、GSE(一般性自己効力感)との関係についてである。2つの研究において、保育者効力感をほぼ高める傾向にあることが示され、一般的な自己効力感も教育実習により高まることが明らかにした。

小藪江(2013)<sup>6)</sup>は、保育実習が学生の自己効力感に与える影響について、意図的に保育スキルを

使うための用意をして実習に臨むことが、実習後の自己効力感を上昇させることを明らかにした。

この小藺江 (2013)<sup>6)</sup>の研究から、保育実践力を高めるための用意をして実習に臨むことが、保育者効力感を高めることに繋がっていくので、乳児保育のスキルを使うための準備をすることで、乳児保育への効力感が高まるのではないかと推察される。

しかし、先行研究において、幼児を対象とした保育者効力感はあるものの、「乳児保育」に着目した効力感尺度は、見当たらない。

そこで研究 1<sup>1)</sup>では、「乳児保育」に特化した保育者効力感尺度の作成が必要であると考え、乳児保育の具体的な保育行為に沿った保育者効力感尺度の作成を試みた。具体的には、予備調査<sup>1)</sup>として、2つの大学の保育所実習を終えた保育専攻学生計 57 名から質問紙調査の回答を得て、乳児保育効力感尺度の項目の作成を行い、50 の項目候補を作成した。信頼性を検討するために、因子分析（最尤法・Promax 回転）の結果、4 因子 39 項目からなる乳児保育効力感尺度を作成した。第 1 因子は、「表現遊び」、第 2 因子は、「困難希求」、第 3 因子は、「適切養護」、第 4 因子は、「言語的賞賛」と命名した。尺度の内的一貫性を検討するため、Cronbach の  $\alpha$  係数を算出してところ、表現遊び尺度で .92、困難希求尺度で .89、適切養護で .89、言語的賞賛で .82 と高く、満足し得る内的一貫性が認められた。

研究 2<sup>2)</sup>では、予備調査<sup>2)</sup>として、2つの大学の保育所実習を終えた保育専攻学生計 57 名から質問紙調査の回答を得て、学生が保育所実習を行った際、乳児に対して困難さを感じた内容を検討し、KJ 法に基づき、分類を行った。記述内容の特徴により、「コミュニケーション」「子ども同士のかかわり」「おむつ換え・排泄の援助」「遊び・表現」「食事の援助」「安全に関する対応」「着脱・清潔の援助」「睡眠時の援助」のカテゴリーを生成した。困難さに対する対応場面のシナリオをイラスト入り「乳児保育実践カード」として作成を行った。また、乳児保育実践カードを活用した授業をより詳細に検討するための効果測定である乳児保育実践学習の内容に関する課題、乳児学習評価の作成を検討した。（以下、乳児学習評価とする。）乳児学習評価として、介入前、介入中、介入後の

3 パターンにおいて、乳児学習評価の課題 40 問を○×形式で回答するものを、3 種類作成した。

研究 3<sup>3)</sup>では、乳児保育実践学習の一人一人の乳児学習評価の得点を細かく知るために、乳児保育実践学習の介入前・介入中・介入後の 3 回に分けて測定した得点に対し、クラスター分析（ユークリッド平方距離による Ward 法）を行なった。クラスターを 3 つから 6 つに設定し分析した結果、解釈可能性を考慮して 4 クラスター（得点成長群、継続困難群、挫折復活群、実力不発群）を採用した。

各クラスター（群）と介入前・介入中・介入後の乳児保育効力感の各下位尺度の平均得点に差があるか検討するために、各クラスター（群）を独立変数、介入前・介入中・介入後の乳児保育効力感の各下位尺度（表現遊び、困難希求、適切養護、言語的賞賛）の得点を従属変数とする 1 要因の分散分析を行なった。その結果、介入中の得点成長群は、適切養護 2 の平均得点が 3.65、継続困難群は平均得点が 3.20 と 5%水準で有意な差が認められた ( $F(3,104) = 3.23, p < .05$ )。Tukey の HSD 法による多重比較を行なったところ得点成長群は、継続困難群よりも得点が高まることが明らかになった。以上から、実践カード学習を活用した乳児保育実践学習の成績の良かった群は、乳児保育効力感の適切養護が上昇したことが明らかとなった。

本研究は、研究の総まとめとして、乳児保育実践学習や乳児学習評価を受け、保育所実習前半、後半の全て終了した学生を対象に実習振り返りについて、A 県内の C 短期大学 2 年生の保育所実習を終えた保育専攻学生計 108 名に質問紙調査を実施した。「乳児保育実践カード学習」は、保育学生の立場から、保育者として、また、自分の子育てにおいて役に立つかどうかの回答を得た。

## II. 方法

### 調査対象

A 県内の C 短期大学 2 年生の保育専攻学生の中で、前半・後半を通して、保育所実習を希望している学生 122 名の内、乳児保育実践カードの学習の介入前、介入中、介入後の 3 時点すべてに乳児学習評価を受けている 108 名を調査対象とした。

### 調査時期

平成28年2月上旬に実施した。この時期は、幼稚園実習、施設実習、保育所実習とすべての実習が終了している。実習内容をよく把握し、就職に向けて今まで学習してきたことを保育の現場にて実践に移していこうとする時期である。

#### 調査手続き

質問紙の実施においては、筆者の授業終了後に実施した。事前に倫理的配慮として、「研究の目的」「自由参加であること」「個人情報厳守すること」を説明して依頼し回答を求めた。所要時間は、10分程度であった。回答数は、108名（回収率100%）、有効回答数は、回答に不備の無い104名（回収率96%）を採用した。

#### 後期実習後振り返りシートの質問紙の構成

以下の質問1～5の項目に対して回答を得た。質問3・5の項目では、自由記述での回答を求めた。

#### 後期実習後振り返りシート

質問1「後半実習は、何歳児のクラスにはいりましたか。」

質問2「乳児保育実践カード学習は実習で役立ちましたか。」

質問3「役に立った方は、保育所実習のどの場面で役立ちましたか。」

質問4「乳児保育実践カード学習は就職してから、また、将来の子育てに役立つと思いますか」

質問5「役に立つと思われる方は、どの場面で役立つと思いますか」の問いに対し、理由を自由記述で求めた。

### III. 結果

A県内のC短期大学2年生の後半の保育所実習を終えた保育専攻学生計104名から、有効な回答を得た。

質問1「後半実習は、何歳児のクラスにはいりましたか。」に対し、108名中104名が回答した。この有効回答の104名の各年齢における実習平均日数を求めた。

0歳児平均1.38日間、1歳児1.43日間、2歳児1.58日間、3歳児2.11日間、4歳児2.45日間、5歳児2.03日間だった（Figure1参照）。

質問2「乳児保育実践カード学習は実習で役立ちましたか。」の質問に対し、「役に立った」「役立たなかった」の2択で回答を求めた。「役に立った」と回答したのが104名中89名で、「役立たな

かった」と回答したのが15名で、無回答は0であった。86%の学生が、役立ったことを感じることが分かった（Figure2参照）。

質問3「役に立った方は、保育所実習のどの場面で役立ちましたか。」の質問に対し、自由記述での回答を求めた。「着脱の援助の時」「着脱の言葉かけが参考になった。」など、着脱に関する記述が、27であった。それに関連し、「オムツの交換や排泄援助の場面での拭き方などが参考になった。」「オムツ換え、排泄の援助」など、オムツ交換や排泄に関する記述が、23であった。次に「手遊び、わらべうたが参考になった。」「0歳児クラスでいろいろなわらべうたを歌ってスキンシップを取り、あやすことができた。」「1歳児クラスと一緒に遊ぶ時に役立った。」「手遊び、わらべうたなど年齢に合ったものを選んで、行なうことができた。」など、手遊びやわらべうたを歌って、乳児をあやしたり遊んだりできたという記述が、44であった。「ケンカの仲裁。」「おもちゃのとり合いの仲裁」「子ども同士のケンカで、お互いの話を聞くことが参考になった」など、喧嘩の仲裁に関する記述が、11であった。「鼻のかみ方」「鼻をかむ援助をする時に、ロールプレイが参考になった」など、鼻をかむなど清潔に関する記述が、10であった。「食事の言葉かけや援助」など、食事や授乳に関する記述が9であった。絵本についての記述では、「年齢に合った絵本を選んで、行なうことができた。」が4であった。「嘔みつきが起きてしまった時」など、嘔みつきの対応など安全面に関する記述が2であった。「午睡のときに役だった」記述が2であった。抱き方や沐浴、生活に関する内容の記述がそれぞれ1つずつとその他の記述で1つあり、合計135項目の自由記述の回答が得られた（複数回答あり）（Table1）。

質問4「乳児保育実践カード学習は就職してから、また、将来の子育てに役立つと思いますか」の問いに対し、「役に立つ」「役立たない」の2択で回答を求めた。「役に立った」と回答したのが104名中101名で、「役立たなかった」と回答したのが0名で、無回答は3であった。97%の学生が、役立ちを感じることが分かった（Figure3参照）。

質問5「役に立つと思われる方は、どの場面で役立つと思いますか」の問いに対し、理由を自由

記述で求めた。

一番多かったのが、着脱や排泄など生活全般での援助の記述が61であった。次に、「手遊びやわらべうたを歌いコミュニケーションをとる」など、表現遊びに対して、42の記述があった。食事の援助な仕方についての記述が15であり、ケンカの対応など子ども同士のコミュニケーションについての記述が8であった。「全てのカードで役に立つと思う。」や「カードの内容を覚えていれば、いろいろな場面で役立つ。」など、実践カードに関する内容の記述が8であった。また、将来の子育てに関する記述は、4であった。「年齢に合った、絵本の選び方・読み聞かせのとき。」という絵本の選定に関する記述は、3であった。「保護者にアドバイスとして伝えられることができる。」など、保護者への情報提供などの記述が2であった。嘔み吐きの対応など、安全に関する内容の記述が1つであった。合計144の記述があり、将来の子育てのイメージができ、授業を活かせるものと感じた（複数回答あり）(Table 2)。

#### IV. 考察

##### 後期実習後振り返りシートの検討

乳児保育実践カード学習を実施した後に保育所実習を経験した学生に「後期実習後振り返りシート」では、質問1の「何歳児のクラスにはいましたか」に対し、4歳児が最も多く、実習平均日数は、2.45日間であった。次いで、3歳児、3番目は、5歳児の順だった。前半の保育所実習は、全てのクラスで満遍なく実習をすることで、子どもの発達段階の把握をしやすい実習日程が組まれていると思われる。後半の保育所実習では、責任実習を意識して、実習のやり易い3歳以上児クラスでの実習が多くなる傾向にあり、3歳児未満児クラスと比較すると、3歳以上児クラスでの実習が1日から2日多くなったと推察される。

質問2の「乳児保育実践カード学習は実習で役立ちましたか。」に対し、「役に立った」104名中89名で、「役立たなかった」と回答したのが15名で、その中でも、未満児クラスでの実習がなかったことを理由に挙げていた学生も6名ほどいた。無回答は0であり、多くの学生が、役立ちを感じていることが分かった。

役に立った保育場面の記述数が1番多かったの

は、着脱の場面や排泄の場面、清潔など養護に関する保育内容の結果となった。養護に関する保育内容は、具体的に実践カードにてイラストに記した内容が分かり易かったのではないかということ、ある程度手順が決まっているので、身につけることで、子どもの発達の様子に合わせて、実践できる保育スキルといえる。

次に役に立った保育場面の記述数が2番目に多かったのは、手遊びやわらべうたで遊んだりあやしたり、コミュニケーションをとる内容となっていた。手遊びやわらべうたなどの保育スキルを身につけたことで、0・1・2歳児クラスの子どものかわる場面において、記述にもあるように、年齢に合わせてあやしたり遊んだりすることができたものと推察する。

言葉がけでは、食事や着脱など生活の援助のときに役に立った記述がみられた。子どもに対する言葉がけは、子どもの生活の中での楽しさが倍増したり、励まされたりして、自信に繋がっていく大切な要素である。経験により様々な場面での子ども達への言葉がけが適切になっていく部分もあるが、実習において、実践カード学習の内容も手がかりとなり、活かされたのではないと思われる。

また、ケンカの仲裁や安全面に関する内容も役に立ったとして記述があった。2歳児クラスのイヤイヤ期などで頑固な行動を表すことでトラブルが起りやすくなることは、実習において、対応しにくい場面でもあり、頻繁に起こる場面である。困った性格として捉えるのではなく、発達上の大切なステップであることを頭におきながら、感情的に対応しないことが大切であり、実践カードで学んだ内容が活かされた記述といえる。

実習において、困ったことや分からないことを指導者に質問して、アドバイスを活かすことができたり、保護者や子ども、保育者に積極的に挨拶することができたり、実習ノートをある程度の的確な早さで書くなどは、乳児保育効力感尺度の第2因子である「困難希求」の内容であるが、実践カードでは表現しにくい場面であるため、授業の学習の中で、伝えていった内容である。これらの理由から、困難希求の内容は、実践カード学習は実習で役立ちましたかの内容の中には、記述されていないと思われる。

**Table 1** 後半実習において乳児保育実践カードが役立った内容についての自由記述

項目	回答数
手遊び, わらべうたが参考になった。	18
乳児とのかかわり方。遊び方。	4
わらべうたを実際にやって, 子どもがすごく笑ってくれたので嬉しかった。	1
手遊び, わらべうたなど年齢に合ったものを選んで, 行なうことができた。	4
0歳児クラスでいろいろなわらべうたを歌ってスキンシップを取ることができた。	4
0歳児クラスで体を使った遊び, 手遊びをしたらとても喜んでくれた。	3
0歳児をあやす時, わらべうたが役に立った。	3
0歳児にわらべうたを実際にうたったら, 笑ってくれた。	1
1歳児クラスで一緒に遊ぶ時に役立った。	4
0, 1歳児のわらべうた。	1
0.2.3歳児合同で遊んだ時に役立った。	1
年齢に合った絵本を選んで, 行なうことができた。	4
オムツの交換や排泄援助の場面での拭きかたなどが参考になった。	13
オムツ換え, 排泄の援助。	10
着脱の援助の時。	19
着脱の言葉がけが参考になった。	2
着脱援助で, 後ろからそっと援助する。	1
1歳児・2歳児の排泄の場面で, 衣服の着脱が参考になった。	1
3歳児の着脱の場面でボタンの留め方やズボンを はくときにさりげなくサポートする参考に。	1
ボタンかけの援助。	3
鼻のかみ方。	9
鼻をかむ援助をする時に, ロールプレイが参考になった。	1
食事の言葉がけや援助。	6
0歳児クラスでの食事の援助。	1
1歳児クラスで食事の援助に役立った。	1
授乳の際に。	1
抱っこの仕方。	1
沐浴のやり方がわかった。	1
生活の中での援助の方法を学ぶことができた。	1
ケンカの仲裁。	6
おもちゃのとり合いの仲裁。	3
子ども同士のケンカで, お互いの話を聞くことが参考になった。	2
午睡のときに役だった。	2
嘔みつきが起きてしまった時。	2

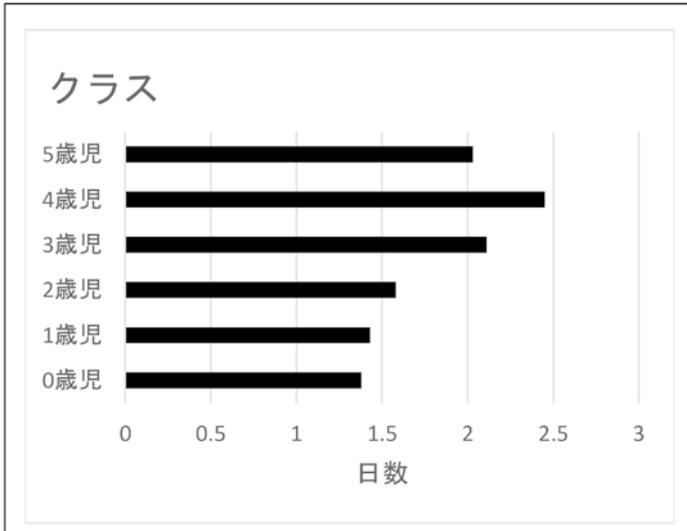


Figure 1 保育所実習後半で、実習をしたクラスの日数

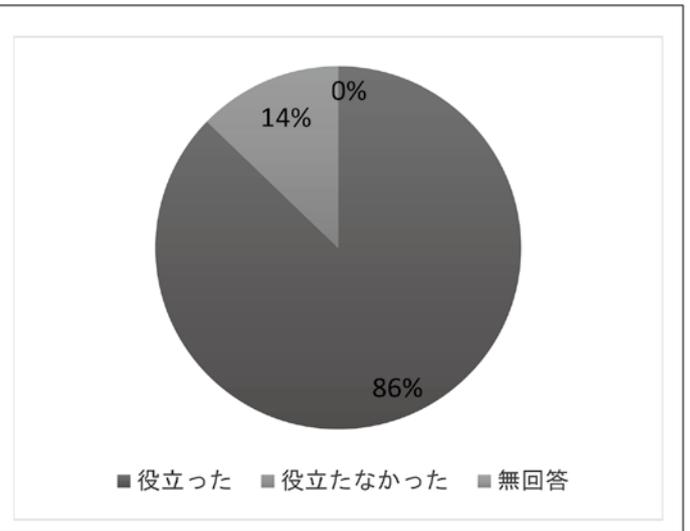


Figure 2 「乳児保育実践カード学習は実習で役立ちましたか。」の回答

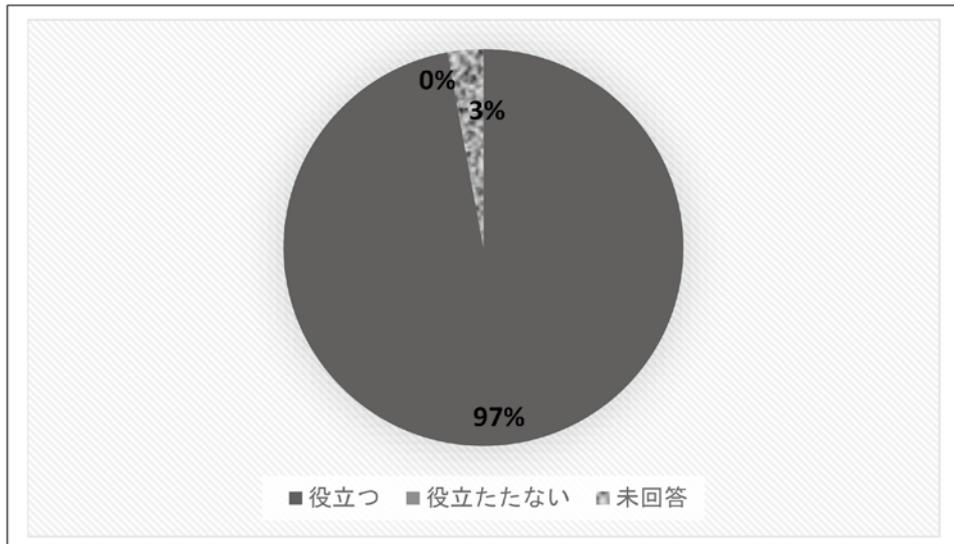


Figure 3 「乳児保育実践カード学習は就職してから、また、将来の子育てに役立つと思いますか。」の回答

**Table 2** 乳児保育実践カードが就職や将来役立つかについての自由記述

項目	回答数
手遊びなど。	10
わらべうたを歌いコミュニケーションをとる。	12
遊んだり，あやしたりする場面。	11
乳児クラスに入った場合，ふれあい遊びやわらべうたが役立ちそう。	5
小さい子の手遊びなどのレパートリーが増えた。	1
手遊びを使ってコミュニケーションをとれると思う。	1
0歳児には，どのような手遊びがいいのかや対応の方法を学べた。	1
子どもと1対1で接する時，たくさんわらべうたを歌えたらよいと思う	1
子ども達とかかわる場面で役立つと思う。	10
子どもとの援助の仕方に困った場合。	4
日常生活のお世話で。	11
子どもの発達に合った援助。	3
各年齢に対する援助の仕方が大変役に立つと思う。	5
乳児の発育の課程，乳児の世話をすることで気をつけること。	1
声かけや援助の方法。	1
食事の援助。	9
ミルクの作り方・授乳方法。	6
着脱の援助，声かけ。	7
どのような衣類で着脱をしたら，子どもが自分でやった気になるのかが，分かるのでよいと思った。	1
ボタンの留め方など細かく書いてあったため。	1
清潔の援助に関することに役立つと思う。	1
抱っこの仕方。	1
沐浴の時，見ながら実践できる。	1
排泄の援助。	6
オムツ交換の方法。	8
ケンカの仲裁など子ども同士のトラブルの時に役立つ。	8
噛まれた時の対応。	1
年齢に合った，絵本の選び方・読み聞かせのとき。	3
全てのカードで役に立つと思う。	4
カードの内容を覚えていれば，いろいろな場面で役立つ。	2
分からないことがあったとき手軽に調べることができる。	1
知っておくべきことを，実践カードで学べたから。	1
保護者にアドバイスとして伝えられることができる。	2
子育てをする時，どのようなことに気をつければよいか学べた。	3
子どもが生まれた時に役立つ。	1

質問4の「乳児保育実践カード学習は就職してから、また、将来の子育てに役立つと思いますか」について、「役に立つ」104名中101名で、「役立たなない」と回答したのが0名で、無回答は3であり、多くの学生が、役立ちを感じていることが分かった。

質問5では、「役に立つと思われる方は、どの場面で役立つと思いますか」の問いに対し、理由を自由記述で求めた。役に立つと思われる場面では、1番多かった内容は、着脱や排泄、清潔などの生活全般のお世話の仕方など、養護に関する保育内容が67であった。次に、手遊びやわらべうたなど表現遊びに対しての記述があった。それに続きケンカの対応、実践カードに関する内容や保護者への情報提供など、子どもとのかかわりや生活全般での援助の仕方についての記述が多く、就職してから乳児クラスの担任になったことを想定しての記述数が多い結果となった。

また、将来の子育てする上での役立ちについての記述やカード自体が役に立つとの記述もあった。

以上の記述から、実践カードを活用しての乳児保育実践学習は、概ね学生にとって、実習で役に立ち、保育学生の立場から、保育者として、子育てにおいて役に立つことが予想されるということが明らかになった。

## V. 結論

### 後期実習後振り返りシートについて

保育所実習において、乳児保育実践カード学習は実習で役に立ったかの質問に対し、86%が役に立ったと回答しており、役立たなかったと回答した中の半数の学生は3歳未満児クラスでの実習を行わなかったと記述しており、概ね学生にとって、実践カードを活用しての学習は役に立ったという結果であった。

役に立った保育場面の記述数が1番多かったのは、着脱や排泄、清潔などの養護に関する保育内容の結果となった。養護に関する保育内容は、具体的に実践カードにてイラストに記した内容が分かり易く、具体的な実践内容での保育スキルが身につけやすいのではないかと推察される。

役に立った保育場面の記述数が2番目に多かったのは、手遊びやわらべうたで遊んだりあやしたり、コミュニケーションをとる内容となってい

た。この内容は、予備調査において、困難さを感じている内容と一致しており、「年齢に合わせてあやしたり遊んだりすることができた」という記述から、保育場面や対象年齢に合わせて、柔軟にコミュニケーションをとる様子が推察された。ケンカの仲裁や安全面に関する内容も役に立ったとの記述から、2歳児クラスあたりでの子どもの第一次反抗期において、子どもの気持ちを受け止めつつ他の友達の気持ちに気づかせられる配慮もできていたと推察された。

しかし、実習において、困ったことや分からないことを指導者に質問して、アドバイスを活かすことができたり、保護者や子ども、保育者に積極的に挨拶することができたり、実習ノートのある程度の的確な早さで書くなどは、実践カードとして活用する内容と異なり、授業の中で講義してきた内容である。乳児保育実践学習の中にも、実践カードで表現できるものとできないものがあるといえる。

### 本研究のまとめと課題

天野他(2019)<sup>7)</sup>は、保育所、幼稚園、幼保連携型認定こども園の施設数について、1965年から2017年までの推移をまとめている。1965年の保育所は11,199数、幼稚園は8,551数であり、保育所の数が幼稚園より上回っている。1985年まで両施設とも増加傾向にあり、保育所は22,899数、幼稚園は、15,220数となっている。いずれも保育所の数が7,500数を上回っている。その後、幼稚園は、減少傾向に転じ、2015年度に認定こども園が創立されるとさらに幼稚園は減少している。2017年では、保育所は23,432数、幼稚園は10,878数であり、幼保連携型認定こども園は3,623数となっている。

本学の卒業生も保育所への就職率が高く、続いて認定こども園になっている。保育所と認定こども園は、0～2歳児が在園しており、新任保育者として担当をしたり、担任でなくても当番では必ず接したりする機会があることが推察される(Figure4参照)。

年度	就職希望数	保育所	幼稚園	認定こども園	施設	他
令和元(2020)	120人	53人	25人	30人	9人	3人
令和2(2021)	164人	77人	36人	38人	11人	2人
令和3(2022)	146人	75人	26人	34人	11人	0人
令和4(2023)	142人	76人	22人	35人	8人	1人

Figure4 埼玉純真短期大学卒業生就職先 進路支援部

乳児保育に対するニーズもますます拡大している現状がある中、保育者養成において、重要である実習において、乳児との関わりに苦手意識をもっている学生に対し、どのようにしたら、乳児保育の授業が効果的に行えるかが課題であった。船越(2010)<sup>8)</sup>は、モデル人形や、視覚的教材を通して発達、保育の実践と理論を結びつけることが必要であると報告している。

本研究の実践カードを活用した実践学習の振り返りの感想では、概ねの学生が実習で役に立ったと回答しており、保育スキルを高め、子どもとの相互作用を深めることに繋がった肯定的な記述が多く、実習において一定の効果を持つ可能性が示唆された。また、後期実習後振り返りシートの質問4の「乳児保育実践カード学習は就職してから、また、将来の子育てに役立つと思いますか」について、概ね「役に立つ」と回答していた。普段の学生の様子から、子どもたちを見る眼差しは、母性を感じる場面が多く見られる。このことから保育専攻学生としての学習や実習から、保育者として子どもたちとの関わりや業務に対するイメージができていたり、将来の母親像や子育てのイメージが構築されていたりするのではないかと推察される。

今後は、保育スキルの向上のためにも授業内容の研究や感染症対策などで取り入れている園の保育スタイルによる違い、時代とともに変化する乳児のケア製品なども、さらなる検討を行い、新しい情報も取り入れていく必要があると考える。

## 謝辞

聖徳大学大学院の鈴木由美先生には、いつも熱心なご指導とともに温かい励まし、多大なる示唆を頂き、支えていただきましたことを厚く御礼申しあげ、心より感謝いたします。

また、多くの学生、卒業生の皆様に調査に協力

していただきましたことを感謝申し上げます。

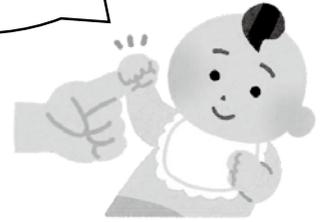
## 参考文献

- 1) 加藤房江. 乳児保育効力感(自作)尺度の作成 埼玉純真短期大学研究論文集, 2018, 11, (pp 15 - 25) .
- 2) 加藤房江. 保育専攻学生による乳児保育実践学習と乳児保育効力感との関連 1 - 「乳児保育実践カード」と「乳児保育実践学習評価」を作成して- 埼玉純真短期大学研究論文集, 2021, 14, (pp 1 - 22) .
- 3) 加藤房江. 保育専攻学生による乳児保育実践学習と乳児保育効力感との関連 2 埼玉純真短期大学研究論文集, 2022, 15, (pp 11 - 20) .
- 4) Bandura, A. Self-efficacy: Toward a unifying theory of behavioral change, *Psychological Review*, 1977, 84, (pp 191 - 215) .
- 5) 三木知子・桜井茂男 保育専攻短大生の保育者効力感に及ぼす教育実習の影響 教育心理学研究, 1998, 46, (pp 203 - 211) .
- 6) 小園江幸子 保育実習が学生の自己効力感に与える影響—保育専攻学生2年間の縦断的データの分析— 淑徳短期大学研究紀要, 2013, 52, (pp 117 - 128) .
- 7) 天野珠路 北野幸子 編集 新基本保育シリーズ 1 保育原理 公益財団法人 児童育成協会 2019, (pp 31 - 32) .
- 8) 船越利代子 “乳児保育”授業における課題—保育所実習アンケート分析から— 筑波国際短期大学紀要 2010, 38, (pp1 - 15) .

## 付記

この論文は、聖徳大学大学院の修士論文を加筆修正したものである。

よろしく  
お願いします。



## 後期実習後振り返りシート

氏名の頭文字と学籍番号の下3桁を下記の例にならって記入してください。

(例) 加藤花子 215110

例にならって記入してください。

か	は	1	1	0
---	---	---	---	---

--	--	--	--	--

1 保育所実習（後半）では、何歳児のクラスで実習をしましたか？

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
日数						

2 「乳児保育実践カード」学習は実習で役立ちましたか？

(1) 役に立った

(2) 役立たなかった

3 役に立った方は、保育所実習のどの場面で役立ちましたか？

(例：2歳児のケンカの場面で、〇〇が参考になった)

4 「乳児保育実践カード」学習は就職してから、また、将来の子育てに役立つと思いますか？

(1) 役に立つ

(2) 役立たない

5 役に立つと思う方は、どの場面で役立つと思いますか？

\*ご協力ありがとうございました。

